

20013

Door to balloon タイムスタディ：長崎県離島 A 病院の急性心筋梗塞症例の比較検討

【目的】 離島・へき地にある調査対象施設の急性心筋梗塞(AMI)患者が来院して 90 分以内に再灌流を得る迄の Door to balloon (D2B) の時間短縮を図るために、その妨げとなる過程を明らかにする。

【方法】 1. 期間：2011 年 7 月～2012 年 3 月

2. 対象：期間中に来院した AMI 患者 11 例

3. データ収集と分析方法：対象を A と B の 2 群に分け、患者側と看護師側の D2B 過程のタイムスタディを行い、比較検討した。

A 群：転院・搬送 5 症例(心電図情報有り)

B 群：救急車・自力受診(walk in) 6 症例(情報無し)

4. 倫理的配慮：当該施設看護部倫理委員会の承認を得て実施した。

【結果】 D2B は全体平均時間 72 分、A 群 49 分、B 群 90 分だった。B 群は A 群より再灌流迄に 41 分長かった。A 群は来院から心カテ入室入室に 16 分だったが、B 群は 58 分を要した。B 群では来院から心電図迄 3 分、心電図情報から心カテ決定は 22 分、看護師の召集から病院着時間が 15 分だった。A 群は来院前に心カテ決定と召集がある待機症例だった。B 群の心電図情報から心カテ決定迄は循環器医師が院内にいる場合 9 分、院内にいない場合は 37 分だった。

【考察】 B 群が A 群より D2B が長い原因は来院後の「心電図情報からの治療決定」と「召集から病院着時間」であった。心カテ決定と召集準備時間の短縮は可能であり、今後は初期対応医師が循環器医師へ連絡すると同時に心カテ召集を依頼し、院内の看護師が準備を行うことで、更に迅速な対応に繋がると考えた。

評価 1	評価 2	評価 3	採否
発表日時 月 日 (第 日)	セッション	会場	時 分～ 時 分

受付番号

演題番号